

刑 法

(問 題)

2026 年度

注 意 事 項

1. 問題冊子・解答用紙・貸与六法は、試験開始の指示があるまで開かないでください。
2. 科目ごとに、指定された解答用紙を使用してください。
3. 問題冊子・解答用紙・下書用紙・貸与六法の印刷不鮮明、頁の落丁・乱丁および汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせてください。
4. 貸与六法への書き込みは、不正行為とみなすことがあります。
5. 解答は、黒インクのボールペンまたは万年筆（ただし、インクがプラスチック製消しゴム等で消せないものに限る。）で記載してください。ラインマーカー、色鉛筆、修正液等は、問題冊子・下書用紙に使用することを許可しますが、解答用紙に使用した場合は、不正行為とみなすことがあります。
6. 試験開始の指示の後、解答用紙表紙の所定欄に、受験番号、氏名を記入してください。受験番号は正確に3箇所に入力してください。読みにくい数字は採点処理に支障をきたすことがあるので、注意してください。
7. 解答用紙表紙の受験番号、氏名欄以外に、受験者の氏名または特定人の答案であると判断されるものが記載されている場合は、不正行為とみなすことがあります。
8. 問題冊子・解答用紙・下書用紙・貸与六法を取替え、追加配布は行いません。なお、解答用紙のステープルは取り外さないでください。
9. 解答は横書きとし、解答欄の枠内に書いてください。解答欄の枠外（着色部分等）に記載した場合には、当該部分は採点されません。
10. 解答は1頁から連続して記載し、途中で空白の頁を生じさせないでください。誤って頁をとばした場合は、解答が連続していることを明らかにしてください。
11. 解答を訂正するときは、訂正部分が数行にわたる場合は斜線で、1行の場合には横線で消して、その次を書き直してください。
12. 解答を1行おきに空けて記載した場合や、解答用紙を下書きに使用した場合は、答案のすべてを無効とすることがあります。
13. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答を止め、筆記用具を置いてください。終了の指示に従わず筆記用具を持っていたり、解答を続けた場合は、不正行為とみなすことがあります。
14. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出してください。

問題（100点）

以下の【事実】が認められたものとして、〔設問〕に答えなさい。

【事実】

1. 甲（30歳・男性）は、自宅近くの路上で、甲を待ち伏せしていた元交際相手のA（34歳・女性）から復縁を迫られた。甲がこれを断るとAが持っていた傘で殴りかかってきたので、甲は、身を守るため、Aの左肩付近を素手で殴打した。これにより、Aは、よろけて通行人Bにぶつかった後、路面に転倒し、左手に全治14日程度の擦過傷を負った。また、巻き込まれたBも転倒し、身体を路面等に打ち付けた。現場は人通りの多い場所であったが、甲は、通行人を巻き込むとは思っていなかった。
2. 甲は、Aの転倒にともなって同人のバッグから散乱した所持品の中に、Aの携帯電話及び甲がAに貸していたカギ（甲の所有物）があることを見つけ、カギと携帯電話を持ち去った。カギの持ち去りは、Aの訪問を防止するとともに、新たな交際相手に使わせるためであった。携帯電話の持ち去りは、交際中の通話記録の消去のためであり、消去後に携帯電話は川に投棄した。
3. Bは、頭部を路面に打ち付け全治10日程度の傷害を負ったが、脳に特殊な病変があったために当該傷害が悪化し、1か月後に死亡した。

〔設問〕

甲の罪責について論じなさい（特別法違反の点を除く。）。

〔以下余白〕